

まちづくりの将来像、その実現に向けた取組などをとりまとめた
まちづくりデザイン（案） を作成しました

第4回オープンハウス

最終回

区役所開催

令和 8年

2026

9/ **13** 日 → **15** 火 ・ **17** 木



内容

**パネル
番号**

まちづくりデザイン策定に向けて

1

まちづくりデザインの概要

2

大江戸線の延伸について

3

沿線全体の将来像・まちづくりのテーマ

4

各新駅予定地周辺の将来像

- ・（仮称）大泉学園町駅予定地周辺
- ・（仮称）大泉町駅予定地周辺
- ・（仮称）土支田駅予定地周辺
- ・ 延伸地域共通エリア

5

まちづくりの実現に向けて

6

将来像が実現したまちで
どんな暮らし方や過ごし方を
してみたいですか？

皆様のイメージを教えてください！



まちづくりデザイン（案）作成アンケート（仮）

お名前（姓・名）

〒 市 区 町 丁目 番 号

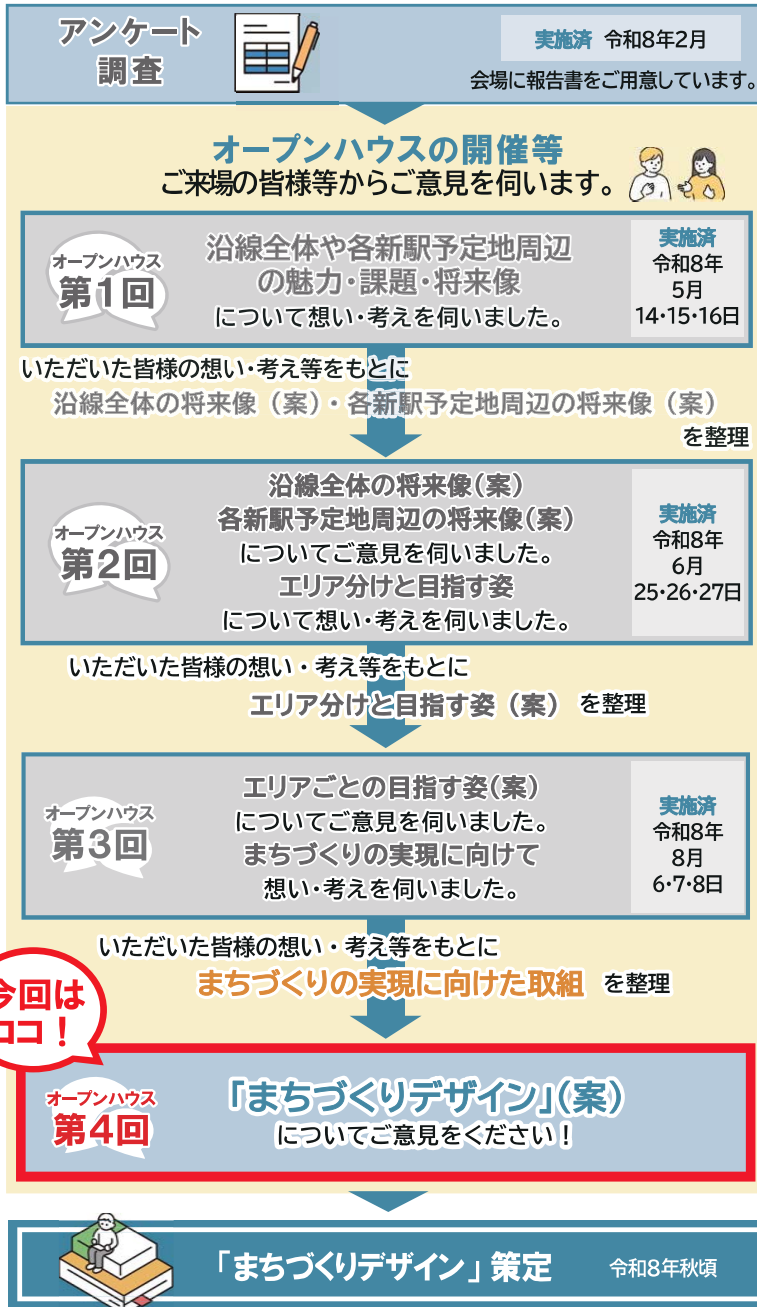
電話番号（固定電話・携帯電話）

メールアドレス

1 まちづくりデザイン策定に向けて（策定までの流れ）

まちづくりデザイン策定までの流れ

「まちづくりデザイン」は、アンケート調査やオープンハウス（パネル展示）等で地域の皆様からいただいたご意見や地域特性を踏まえ検討を進め、策定していきます。



「まちづくりデザイン」の構成（案）

I はじめに

1. まちづくりデザイン策定の目的
2. 対象範囲
3. 大江戸線延伸の概要
4. 大江戸線延伸の効果

II 沿線全体の将来像

1. 沿線全体の将来像
2. 沿線まちづくりのテーマ

III 各新駅予定地周辺の将来像

1. （仮称）大泉学園町駅予定地周辺
2. （仮称）大泉町駅予定地周辺
3. （仮称）土支田駅予定地周辺
4. 延伸地域共通エリア
 - I 補助230・233号線沿い
 - II 一般住宅地
 - III 農業住居複合地

IV まちづくりの実現に向けて

1. まちづくりの進め方
2. まちづくりのロードマップ
3. まちづくりの取組が延伸事業に与える効果

● ここからはじまる物語

1. （仮称）大泉学園町駅予定地周辺
2. （仮称）大泉町駅予定地周辺
3. （仮称）土支田駅予定地周辺

● 参考資料

まちづくりデザイン策定に向けたお知らせ・意見募集の方法

これまでのオープンハウスの開催状況や、「まちづくりデザイン」の策定状況については、「**大江戸線延伸まちづくりデザインニュース**」でお知らせします。

また、各回のオープンハウスで展示したパネルや説明動画、オープンハウスの内容に対するご意見投稿フォームを、**区のホームページ**で公開します。

会場にお越しいただけない場合でも、区ホームページから展示内容をご覧いただき、ご意見をお聞かせください。

なお、今後のまちづくりに関する情報は、区のホームページや区公式LINE・X（旧 Twitter）等でお知らせします。



〈練馬区HP〉

※パネル2～6は、まちづくりデザイン（案）の内容です。

1 まちづくりデザイン策定の目的

01 02 03 04 05 06

大江戸線の延伸により、交通利便性の向上が期待されるとともに、各新駅予定地周辺では、地域の特性を踏まえ、生活利便性の向上や、まちのさらなる発展を目指した、新たな拠点づくりが必要です。

そこで、沿線全体の将来像や各新駅予定地周辺の将来像、まちづくりの方針などをとりまとめた、「大江戸線延伸—沿線まちづくりデザイン—」（以下、「まちづくりデザイン」）を策定します。

「まちづくりデザイン」を通して、区民や民間事業者を含む関係者と、延伸後の将来像やそれぞれの役割などを共有しながら、地域の活性化につながる新駅周辺のまちづくり（拠点づくり）を推進していきます。

2 まちづくりデザインとは

01 02 03 04 05 06

「大江戸線延伸—沿線まちづくりデザイン—」のイメージ

これまでのまちづくり

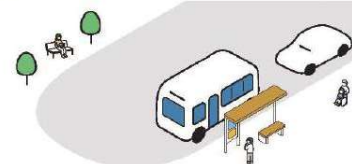
- ✓ 土地区画整理
- ✓ 地区計画（建替えのルール）の策定等



駅前空間に必要な整備内容

(例)

- ✓ 駅へのアクセス道路
- ✓ 使いやすい駅前広場・駅出入口
- ✓ 駐輪場などの公共施設
- ✓ にぎわいづくり
- ✓ 地下空間の活用
- ✓ ユニバーサルデザイン 等



「まちづくりデザイン」は、地域の皆様等の想いや考えをオープンハウスやアンケート等で伺いながらとりまとめた計画です。

➡ まちづくりデザインの構成は、パネル1

3 対象範囲

01 02 03 04 05 06

「まちづくりデザイン」では、各新駅予定地から約1kmを「延伸地域」として設定します。

延伸の事業化や今後のまちづくりの推進により、延伸の効果が延伸地域に限らず、区全体へ波及することが期待されます。

延伸地域



新駅予定地は、東京都の公表資料※により練馬区が想定したものです。

※＜大江戸線延伸にかかる区内プロジェクトチーム＞現在の検討状況について＜令和7年10月＞

大江戸線の延伸について



1 大江戸線の延伸の概要



「大江戸線の延伸」は、現在、光が丘駅まで整備されている地下鉄大江戸線を土支田・大泉町・大泉学園町地域を通り、JR 武蔵野線東所沢駅方面まで延伸する計画です。

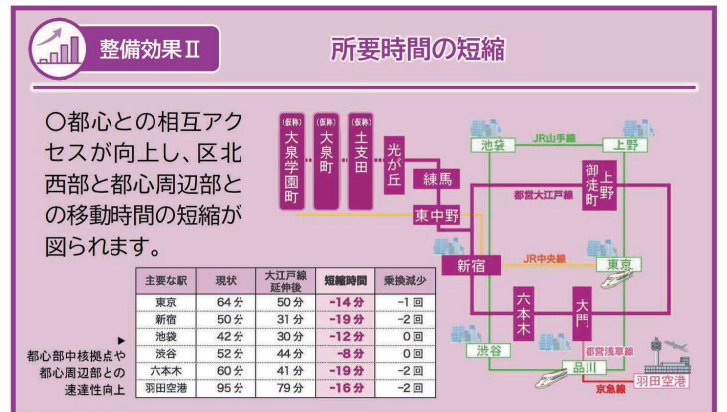
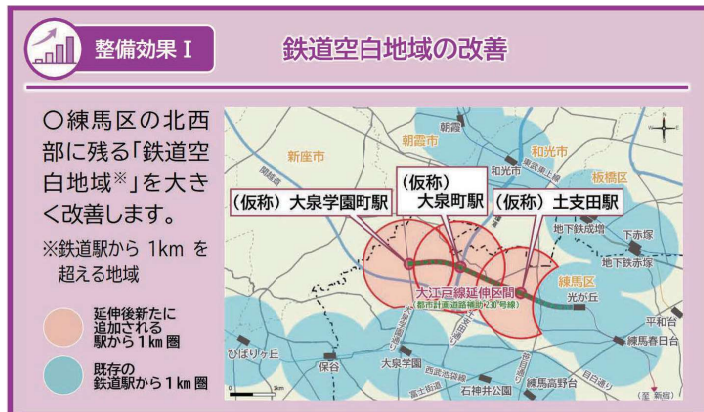
このうち、大泉学園町までの区間で検討が進められています。



2 大江戸線の延伸の効果



大江戸線の延伸により、以下の効果が期待されます。



延伸がもたらす波及効果

経済波及効果

- 延伸工事に伴い、建設関連の雇用が創出され、資源や機械の需要が増加する。
- 働く人の所得が消費に回り、地域全体に経済効果が広がる。

地域活性化

- 新駅周辺に商業施設の立地や宅地開発が進み、人口増加が期待される。
- これにより、地域ににぎわいが生まれ、商業・サービス業の活性化につながる。

地価上昇

- 延伸により交通利便性が向上し、まちづくりにより生活利便性が向上する。
- その結果、延伸地域の地価が上昇し、資産価値が高まる。

環境・緊急時への対応

- 自動車利用からの転換による道路交通の混雑緩和やCO2排出量の減少につながる。
- 別の交通手段が使えなくなった場合の代替ルート、災害時の緊急輸送（人・物）手段として機能する。

1 沿線全体の将来像

沿線全体の将来像

沿線全体の将来像

豊かなみどりの中で、新たな交流・にぎわいが生まれ、持続的に発展するまち

- ✓ 農地や公園などの豊かなみどりは、この地域の大きな魅力です。
- ✓ 大江戸線の延伸により、新駅を中心に、新たな交流やにぎわいが生まれます。
- ✓ 豊かなみどりに囲まれた環境の中で、人々の交流により地域が活性化し、持続的に発展していくまちを目指します。



・新駅予定位置は、東京都の公表資料^(※)により練馬区が想定したものです。
(※) 令和7年10月 大江戸線延伸にかかる市内検討プロジェクトチーム<現在の検討状況について>

2 沿線まちづくりのテーマ

沿線まちづくりのテーマ



交通・基盤

- ✓ 新駅を中心に多様な交通モード*が利用できる環境整備を目指します。
 - ✓ 安全・快適で歩きたくなる歩行空間の整備を目指します。
- *多様な交通モード：バス、タクシー、シェアサイクル等



交流・にぎわい

- ✓ 新駅を中心に、新たな交流・にぎわいが生まれるまちを目指します。
- ✓ 商店街や公園、農地などの地域資源を活かし、訪れたいまちを目指します。
- ✓ 住民や民間事業者、行政により、にぎわいのあるまちを目指します。



みどり・景観

- ✓ 桜並木など、地域の魅力であるみどりや景観の保全を目指します。
- ✓ 農地や公園などの地域資源を活かし、人々が集い親しめる場の創出を目指します。
- ✓ 地域の玄関口となる新駅周辺では新たなみどりの空間づくりを目指します。



暮らし・安全安心

- ✓ 良好な住環境を維持しつつ、新駅周辺では生活利便性が高まり、誰もが快適に暮らせるまちを目指します。
- ✓ 医療・福祉・子育てに関するサービスや支援が充実し、誰もが安心して暮らせるまちを目指します。
- ✓ 水害対策などを進め、安全・安心なまちを目指します。

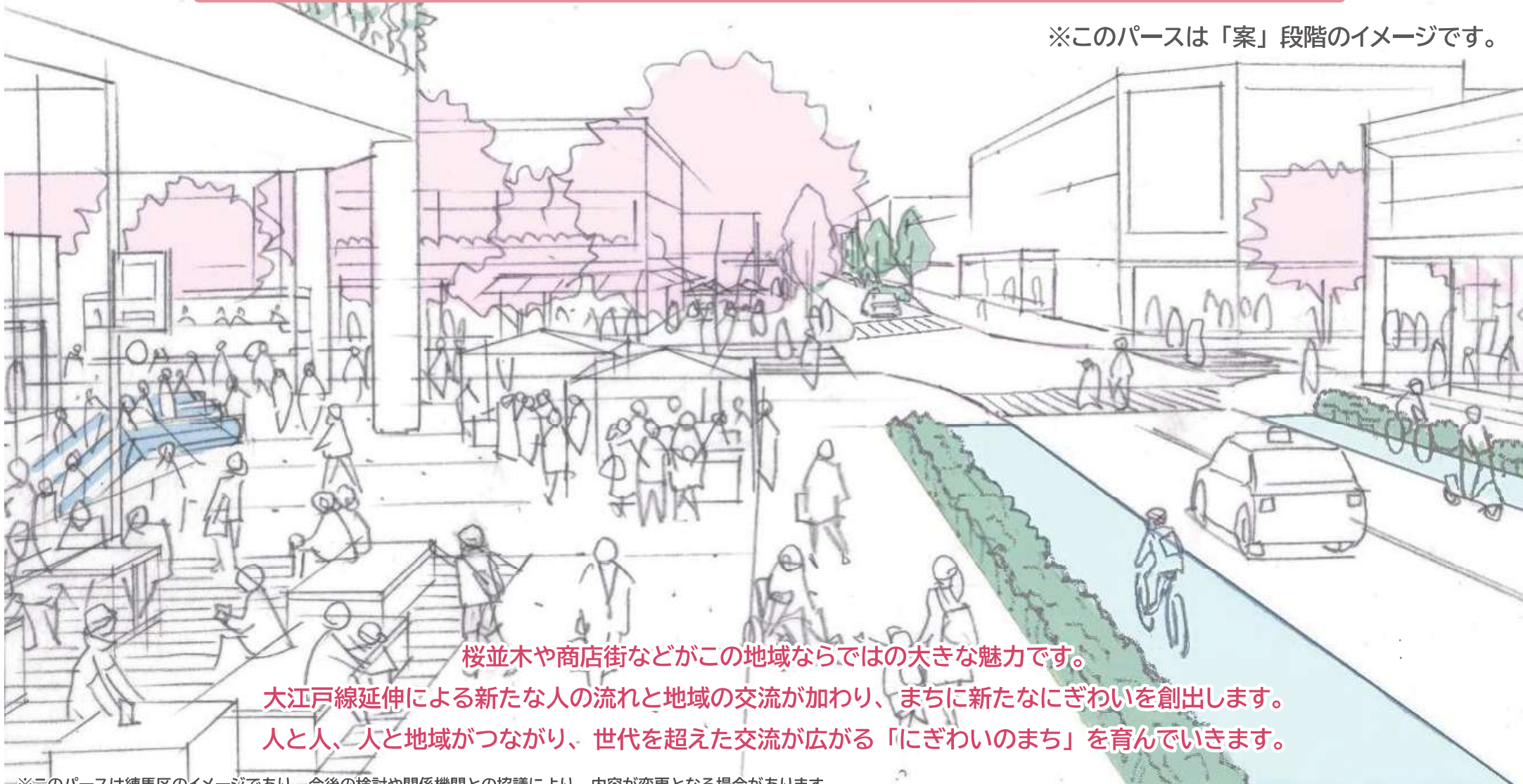
(仮称) 大泉学園町駅予定地周辺の目指す「将来像」を示します。

1 (仮称) 大泉学園町駅予定地周辺



地域の魅力に新たな交流が加わる、にぎわいのまち

※このパースは「案」段階のイメージです。



桜並木や商店街などがこの地域ならではの大きな魅力です。

大江戸線延伸による新たな人の流れと地域の交流が加わり、まちに新たなにぎわいを創出します。

人と人、人と地域がつながり、世代を超えた交流が広がる「にぎわいのまち」を育てていきます。

2 (仮称) 大泉学園町駅予定地周辺のエリア分け

エリア分け図



エリア分け名称

A. 新駅予定地付近

B. 大泉学園通り・長久保通り沿い

C. 新駅アクセス道路付近

共通Ⅰ. 補助230・233号線沿い

共通Ⅱ. 一般住宅地

共通Ⅲ. 農業住居複合地

公園・運動場等 ■ 農地 ■

・新駅予定位置は、東京都の公表資料^(※)により練馬区が想定したものです。

(※) 令和7年10月 大江戸線延伸にかかる庁内検討プロジェクトチーム<現在の検討状況について>

3 エリアごとの目指す姿・実現に向けた取組

※このパースは「案」段階のイメージです。



※このパースは練馬区のイメージであり、今後の検討や関係機関との協議により、内容が変更となる場合があります。

A. 新駅予定地付近

「新駅予定地付近」は、新駅を中心に新たな交流・にぎわいが生まれ、大泉学園町地域の拠点となるエリアです。

関連テーマ	【目指す姿】	【実現に向けた取組】 ①：練馬区の取組 ②：地域住民・団体等の取組 ③：民間事業者の取組
交通 基盤	多様な交通手段に乗り換えられる駅前 安全で快適に歩けるみち	① 多様な交通モードがつながる駅前広場を整備する。 ① 地下鉄上部の地下空間を活用した駐輪場の整備等を検討する。 ① ③ バス路線の再編をバス事業者と検討する。 ① ② ③ 駅と駅前施設等を接続し、円滑な乗換え動線確保するため、駅出入口と駅前施設の一体的な整備を検討する。 ① 歩行者・自転車通行空間を確保するため、駅前広場や幹線道路などの整備、無電柱化を推進する。
交流 にぎわい	便利でにぎわいのある駅前	① ② 利便性と集客力の向上を図るため、再開発事業等により、商業・サービス施設等を備えた駅前施設を整備する。 ① ② 多様なイベントなどが開催できる、オープンスペースの確保を検討する。 ② ③ 人々がくつろげるカフェなど、魅力的な店舗の出店を検討する。 ② ③ マルシェなどの地域イベントの開催や、献血などの社会貢献活動の企画・運営に取り組む。 ② ③ 地域のキャンペーン(デジタルスタンプラリー等)の企画・運営に取り組む。 ② ③ 来訪者を促すため、SNS等でイベント情報などの地域情報の発信に取り組む。
みどり 景観	みどりを楽しめる駅前	① ② ③ 多様な主体が連携し、地域の顔となる駅前のみどりの空間づくりを進め、植栽や花壇づくりを推進する。
暮らし 安全安心	暮らしを支える便利な駅前 災害時に避難できる駅前	① ③ 地域のニーズに応じた医療・福祉・子育てサービスの充実や、施設の適切な配置・整備を検討する。 ① ② ③ 駅前広場の整備に合わせ、避難スペースの確保や防災設備の導入などを検討する。 ① ② ③ 災害時に助け合える地域を目指し、防災訓練等に取り組む。

B. 大泉学園通り・長久保通り沿い

「大泉学園通り・長久保通り沿い」は、桜並木や既存の商店街を活かし、新駅予定地付近からにぎわいが広がるエリアです。

関連テーマ	【目指す姿】	【実現に向けた取組】 ①：練馬区の取組 ②：地域住民・団体等の取組 ③：民間事業者の取組
交通 基盤	安全で快適に歩けるみち	① 道路整備に合わせ、歩行者や自転車の通行空間を整備する。 ① 道路整備に合わせ、植栽の整備や無電柱化を進める。 ② ③ 見守り活動を通じて、安全な歩行環境づくりに取り組む。
交流 にぎわい	歩きたくなるみち 訪れたくなるまち	① ② ③ 地域資源を活かした魅力づくりや情報の発信に取り組む。 ② ③ 空き店舗等の活用を検討する。 ② ③ 商店街と連携し、地域イベントの企画・運営に取り組む。 ② ③ 地域のキャンペーン(デジタルスタンプラリー等)の企画・運営に取り組む。 ② ③ SNS等で商店街のイベント情報など、地域情報の発信に取り組む。
みどり 景観	みどり豊かな美しいみち	① 道路整備に合わせ、植栽の整備や無電柱化を進める。 ① ② ③ みどりの軸の形成に向け、生垣など、道路沿いの緑化に取り組む。 ① ② ③ 道路の清掃活動に取り組む。

C. 新駅アクセス道路付近

「新駅アクセス道路付近」は、道路拡幅により快適で魅力的な歩行空間が生まれ、駅へとつながるエリアです。

関連テーマ	【目指す姿】	【実現に向けた取組】 ①：練馬区の取組 ②：地域住民・団体等の取組 ③：民間事業者の取組
交通 基盤	安全で快適に歩けるみち	① 道路拡幅に合わせ、歩行者や自転車の通行空間を整備する。 ① 道路拡幅に合わせ、植栽の整備や無電柱化を進める。 ② ③ 見守り活動を通じて、安全な歩行環境づくりに取り組む。
交流 にぎわい	歩きたくなるみち	① ② ③ オープンスペースを活用したベンチの設置など憩いの場づくりを検討する。 ① ② ③ 沿道の土地利用について検討する。
みどり 景観	みどり豊かな美しいみち	① 道路拡幅に合わせ、植栽の整備や無電柱化を進める。 ① ② ③ みどりの軸の形成に向け、生垣など、道路沿いの緑化に取り組む。 ① ② ③ 道路の清掃活動に取り組む。

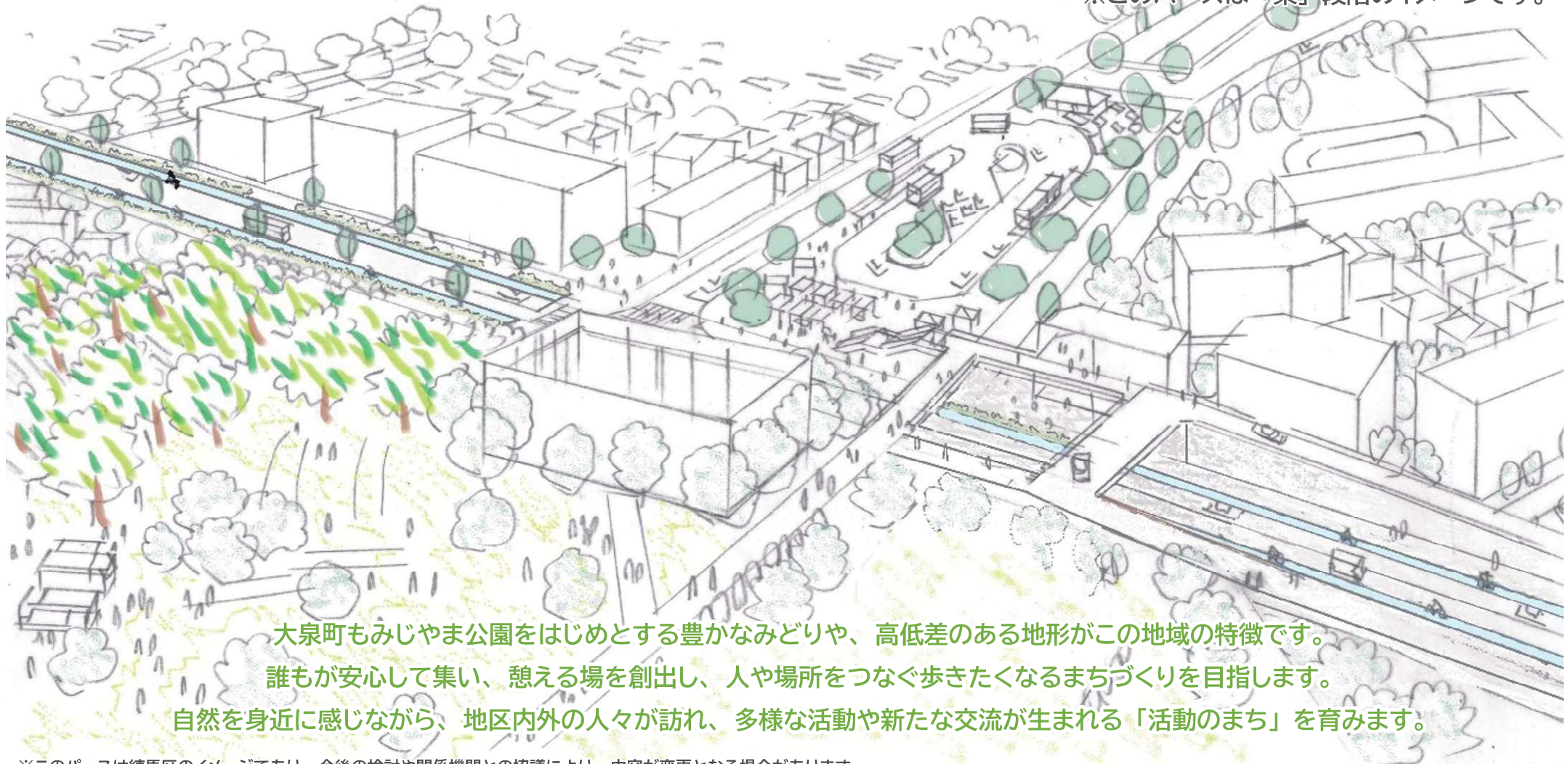
(仮称) 大泉町駅予定地周辺の目指す「将来像」を示します。

1 (仮称) 大泉町駅予定地周辺



みどりの中で様々な人が集い、新たな活動が生まれるまち

※このパースは「案」段階のイメージです。



大泉町もみじやま公園をはじめとする豊かなみどりや、高低差のある地形がこの地域の特徴です。

誰もが安心して集い、憩える場を創出し、人や場所をつなぐ歩きたくなるまちづくりを目指します。

自然を身近に感じながら、地区内外の人々が訪れ、多様な活動や新たな交流が生まれる「活動のまち」を育みます。

※このパースは練馬区のイメージであり、今後の検討や関係機関との協議により、内容が変更となる場合があります。

2 （仮称）大泉町駅予定地周辺のエリア分け

エリア分け図



エリア分け名称

A. 新駅予定地付近

B. 大泉町もみじやま公園付近

C. 外環道沿い

D. 白子川沿い

共通Ⅰ. 補助230・233号線沿い

共通Ⅱ. 一般住宅地

共通Ⅲ. 農業住居複合地

公園・運動場等 ■ 農地 ■

・新駅予定位置は、東京都の公表資料^(※)により練馬区が想定したものです。

(※) 令和7年10月 大江戸線延伸にかかる庁内検討プロジェクトチーム<現在の検討状況について>

3 エリアごとの目指す姿・実現に向けた取組

※このパースは「案」段階のイメージです。



※このパースは練馬区のイメージであり、今後の検討や関係機関との協議により、内容が変更となる場合があります。

A. 新駅予定地付近

「新駅予定地付近」は、新駅を中心に多様な活動や新たな交流が生まれ、大泉町地域の拠点となるエリアです。

関連テーマ	【目指す姿】	【実現に向けた取組】 🏠：練馬区の取組 🧑🏫：地域住民・団体等の取組 🏢：民間事業者の取組
交通 基盤	多様な交通手段に乗り換えられる駅前	🏠 多様な交通モードがつながる駅前広場を整備する。 🏠 利用しやすい駐輪場を整備する。 🏠 🏢 バス路線の再編をバス事業者と検討する。
	安全で快適に歩けるみち	🏠 駅出入口、駅前広場、公園などがつながる、高低差に配慮した移動空間を整備する。
交流 にぎわい	交流とにぎわいが広がる駅前	🏠 多様なイベントなどが開催できる、オープンスペースの確保を検討する。 🧑🏫 🏢 人々がくつろげるカフェなど、魅力的な店舗の出店を検討する。 🧑🏫 🏢 農地やみどりなどの地域資源を活かしたイベント(マルシェ・キッチンカー等)の企画・運営に取り組む。
みどり 景観	みどりを楽しめる駅前	🏠 🧑🏫 🏢 多様な主体が連携し、地域の顔となる駅前のみどりの空間づくりを進め、植栽や花壇づくりを推進する。
暮らし 安全安心	暮らしを支える便利な駅前	🏠 地区計画に基づき、日常生活を支える商業・業務・サービス施設の立地を誘導する。 🏠 🏢 地域のニーズに応じた医療・福祉・子育てサービスの充実や、施設の適切な配置・整備を検討する。
	災害時に避難できる駅前	🏠 🧑🏫 🏢 駅前広場の整備に合わせ、避難スペースの確保や防災設備の導入などを検討する。 🏠 🧑🏫 🏢 災害時に助け合える地域を目指し、防災訓練等に取り組む。

B. 大泉町もみじやま公園付近

「大泉町もみじやま公園付近」は、公園や農の魅力を活かした多様な活動が展開され、憩いと交流が生まれるエリアです。

関連テーマ	【目指す姿】	【実現に向けた取組】 🏠：練馬区の取組 🧑🏫：地域住民・団体等の取組 🏢：民間事業者の取組
交流 にぎわい	多様な活動が広がる公園	🏠 🧑🏫 🏢 地域団体等と連携し、公園の利用方法や活用方策を検討する。 🧑🏫 🏢 公園を利用した活動(自然観察会や環境学習、プレーパークの運営等)に取り組む。 🧑🏫 🏢 地区内外の人が交流できるイベント(地元農産物の販売等)を開催する。 🧑🏫 🏢 SNS等で公園の魅力や活用方法、イベント情報など、地域情報の発信に取り組む。
みどり 景観	居心地のよい公園	🏠 🧑🏫 🏢 公園の維持管理や活動の仕組みづくりを検討する。 🏠 🧑🏫 🏢 居心地のよい公園を維持するため花壇の手入れや清掃活動に取り組む。
	身近な農に親しめる場	🏠 農業体験など、農に触れる機会の提供に関する支援を行う。 🧑🏫 🏢 区民農園や体験農園、直売所等を継続的に利用する。 🧑🏫 🏢 イベント(地元農産物マルシェ等)の企画・運営に取り組む。

C. 外環道沿い

「外環道沿い」は、歩行空間の充実により南北をつなぎ、安全で快適に、楽しく歩けるエリアです。

関連テーマ	【目指す姿】	【実現に向けた取組】 🏠：練馬区の取組 🧑🏫：地域住民・団体等の取組 🏢：民間事業者の取組
交通 基盤	南北が快適につながるみち	🏠 自転車・歩行者の南北ネットワークの形成に向け、外環側道の整備を検討する。
	安心して楽しく歩けるみち	🏠 段差の解消や勾配の緩和など、歩きやすい歩行空間を整備する。 🏠 🧑🏫 🏢 オープンスペースを活用したベンチの設置など、憩いの場づくりを検討する。
交流 にぎわい	多様な活動が生まれる場	🏠 🧑🏫 外環上部空間について、多様な活動が生まれる場を検討する。
みどり 景観	みどり豊かな美しいみち	🏠 🧑🏫 🏢 みどりの軸の形成に向け、生垣など、道路沿いの緑化に取り組む。 🏠 🧑🏫 🏢 道路の清掃活動に取り組む。

D. 白子川沿い

「白子川沿い」は、川や川沿いの豊かな自然を活かし、安全で魅力ある水辺空間が広がるエリアです。

関連テーマ	【目指す姿】	【実現に向けた取組】 🏠：練馬区の取組 🧑🏫：地域住民・団体等の取組 🏢：民間事業者の取組
交流 にぎわい	学びと交流を楽しむ川沿い	🏠 🧑🏫 川や自然を活かした環境学習の機会を設ける。 🏠 🧑🏫 自然観察会など、水辺を活用したイベントや交流活動の企画・運営に取り組む。
みどり 景観	美しい水辺の景観	🏠 🧑🏫 🏢 川沿いの清掃活動や環境保全活動に取り組む。
暮らし 安全安心	水害に強いまち	🏠 🧑🏫 🏢 浸透ます・浸透トレンチの設置等、雨水流出抑制対策を進める。

(仮称) 土支田駅予定地周辺の目指す「将来像」を示します。

1 (仮称) 土支田駅予定地周辺



農と暮らしが調和する、つながりのまち

※このパースは「案」段階のイメージです。



土支田ならではの豊かな農地が広がり、身近に農を感じられます。

農業体験や新たな交流の機会を通じて、世代や地域を超えたふれあいを育みます。

農と暮らしが調和し、人と人とのつながりが広がる「つながりのまち」を創出します。

※このパースは練馬区のイメージであり、今後の検討や関係機関との協議により、内容が変更となる場合があります。

2 （仮称）土支田駅予定地周辺のエリア分け

エリア分け図



エリア分け名称

A. 新駅予定地付近

B. 土支田通り沿い

C. 駅近傍の農とみどり

共通Ⅰ. 補助230・233号線沿い

共通Ⅱ. 一般住宅地

共通Ⅲ. 農業住居複合地

公園・運動場等 農地

・新駅予定位置は、東京都の公表資料^(※)により練馬区が想定したものです。

(※) 令和7年10月 大江戸線延伸にかかる庁内検討プロジェクトチーム＜現在の検討状況について＞

3 エリアごとの目指す姿・実現に向けた取組

※このパースは「案」段階のイメージです。



A. 新駅予定地付近

「新駅予定地付近」は、新駅を中心に人と人とのつながりが生まれ、土支田地域の拠点となるエリアです。

関連テーマ	【目指す姿】	【実現に向けた取組】 ①：練馬区の取組 ②：地域住民・団体等の取組 ③：民間事業者の取組
交通 基盤	多様な交通手段に乗り換えられる駅前	① 多様な交通モードがつながる駅前広場を整備する。 ① 地下鉄上部の地下空間を活用した駐輪場の整備等を検討する。 ① 円滑な乗換え動線確保するため、駅出入口と駐輪場出入口の一体的な整備を検討する。 ① ③ バス路線の再編をバス事業者と検討する。
交流 にぎわい	農に触れながらにぎわう駅前	① 多様なイベントなどが開催できる、オープンスペースの確保を検討する。 ② ③ 人々がくつろげるカフェなど、魅力的な店舗の出店を検討する。 ② ③ 農地やみどりなどの地域資源を活かしたイベント(マルシェ・キッチンカー等)の企画・運営に取り組む。
みどり 景観	みどりを楽しめる駅前	① ② ③ 多様な主体が連携し、地域の顔となる駅前のみどりの空間づくりを進め、植栽や花壇づくりを推進する。
暮らし 安全安心	暮らしを支える便利な駅前 災害時に避難できる駅前	① 地区計画に基づき、日常生活を支える商業・業務・サービス施設の立地を誘導する。 ① ③ 地域のニーズに応じた医療・福祉・子育てサービスの充実や、施設の適切な配置・整備を検討する。 ① ② 駅前広場の整備に合わせ、避難スペースの確保や防災設備の導入などを検討する。 ① ② ③ 災害時に助け合える地域を目指し、防災訓練等に取り組む。

B. 土支田通り沿い

「土支田通り沿い」は、商店街を中心に、日常の利便性とにぎわいが広がるエリアです。

関連テーマ	【目指す姿】	【実現に向けた取組】 ①：練馬区の取組 ②：地域住民・団体等の取組 ③：民間事業者の取組
交通 基盤	安全で快適に歩けるみち	① ② 警察等と協力し安全対策を検討する。 ② ③ 見守り活動を通じて、安全な歩行環境づくりに取り組む。
交流 にぎわい	歩きたくなるみち 訪れたくなるまち	① ② ③ 地域資源を活かした魅力づくりや情報発信に取り組む。 ② ③ 空き店舗等の活用を検討する。 ② ③ 商店街と連携し、地域イベントの企画・運営に取り組む。 ② ③ 地域のキャンペーン(デジタルスタンプラリー等)の企画・運営に取り組む。 ② ③ SNS等で商店街のイベント情報など、地域情報の発信に取り組む。
みどり 景観	みどり豊かな美しいみち	① ② ③ 生垣など、道路沿いの緑化に取り組む。 ① ② ③ 道路の清掃活動に取り組む。

C. 駅近傍の農とみどり

「駅近傍の農とみどり」は、身近に農とふれあえる環境や公園などのみどりを活かし、多世代の交流が生まれるエリアです。

関連テーマ	【目指す姿】	【実現に向けた取組】 ①：練馬区の取組 ②：地域住民・団体等の取組 ③：民間事業者の取組
交流 にぎわい	身近な農に親しめるまち	① 駅近傍の立地を活かした農業体験や直売所の周知を行う。 ② ③ 地元農産物を活用したレストランや店舗の出店を検討する。 ② ③ 区民農園や体験農園、直売所等の利用を通じて、都市農業への理解を深める。 ② ③ SNS等で地元農産物の魅力や農地の役割など、地域の情報を発信する。
みどり 景観	みどりとまち並みを楽しめるまち	① ② 農地や公園などの地域資源を活かしたイベントの企画・運営に取り組む。 ① ② ③ 植栽の手入れや清掃活動など、みどりやまち並みの保全活動に取り組む。

1 エリアごとの目指す姿・実現に向けた取組

共通Ⅰ．補助230・233号線沿い

関連テーマ	【目指す姿】	【実現に向けた取組】 : 練馬区の取組 : 地域住民・団体等の取組 : 民間事業者の取組
交通 基盤	安全で快適に歩けるみち	警察等と協力し安全対策を検討する。 見守り活動を通じて、安全な歩行環境づくりに取り組む。
交流 にぎわい	便利で居心地のよいまち	地区計画に基づき、日常生活を支える商業・業務・サービス施設の立地を誘導する。 沿道のオープンスペースを活用したベンチの設置など、憩いの場づくりに取り組む。
みどり 景観	身近なみどりを楽しめるみち	みどりの軸の形成に向け、生垣など、道路沿いの緑化に取り組む。 沿道敷地の緑化や景観に配慮した店舗・住宅づくりに取り組む。

共通Ⅱ．一般住宅地

関連テーマ	【目指す姿】	【実現に向けた取組】 : 練馬区の取組 : 地域住民・団体等の取組 : 民間事業者の取組
交通 基盤	防災性と利便性を備えたまち	地区計画に基づき、地区施設道路の整備を進める。
交流 にぎわい	集いつながる住宅地	地域イベントなど、多くの人々が交流できる場の活用を進める。 公園の花壇の手入れや清掃活動に取り組む。 公共施設などを活用した地域活動や子育て支援、多世代交流の活動に取り組む。
みどり 景観	みどりと低層住宅が調和したまち	生垣など、道路沿いの緑化に取り組む。 地区計画等に基づき、良好な住環境の維持・形成を図る。 沿道緑化やみどり豊かなまち並みの形成に取り組む。
暮らし 安全安心	災害時に助け合える住宅地	区民や民間事業者が主体的に行う防災活動を支援する。 公園や公共施設への防災備蓄倉庫の設置など、防災機能の強化を進める。 区や防災機関が実施する防災訓練などの活動に取り組む。 地域で助け合う意識を持ち、避難支援や救護活動などの共助に取り組む。
	安心して暮らせる住宅地	防犯のため、パトロールカーによる巡回を実施する。 防犯パトロールや見守り活動に取り組む。 騒音やごみ出しなどの生活ルールを守る。

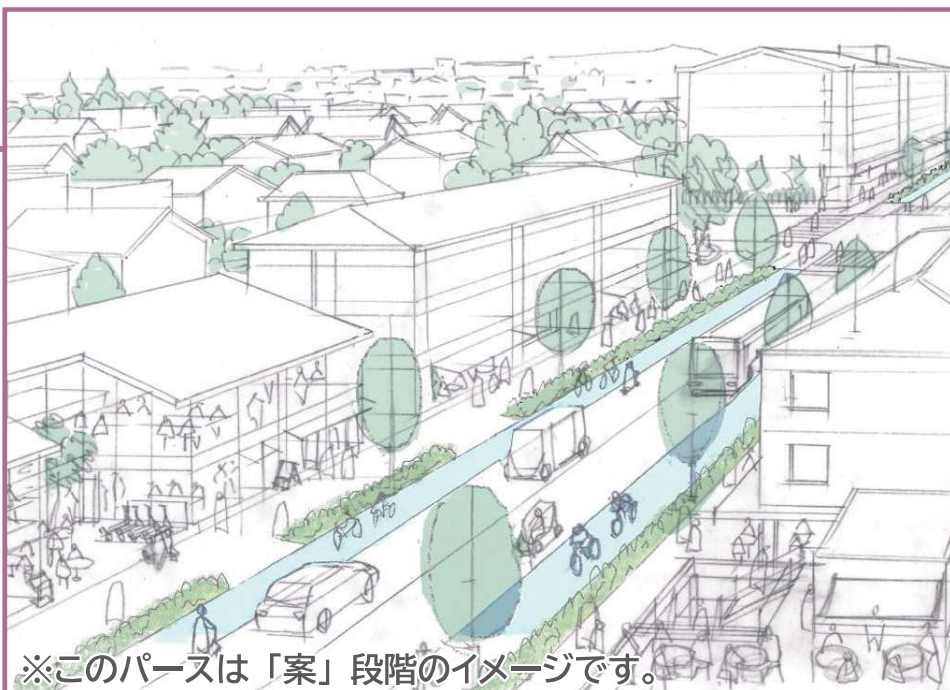
共通Ⅲ．農業住居複合地

関連テーマ	【目指す姿】	【実現に向けた取組】 : 練馬区の取組 : 地域住民・団体等の取組 : 民間事業者の取組
交通 基盤	防災性と利便性を備えたまち	地区計画に基づき、地区施設道路の整備を進める。
交流 にぎわい	農を通じてつながる地域	農業体験など、農に触れる機会の提供に関する支援を行う。 区民農園や体験農園、直売所等の利用を通じて、都市農業への理解や地域交流を深める。 SNS等で地元農産物の魅力や農地の役割などの地域情報の発信に取り組む。
みどり 景観	農地と低層住宅が調和したまち	農地の保全や、地区計画等に基づき、良好な住環境の維持・形成を図る。 農業体験農園やベジかる・果樹あるファーム事業など様々な施策を通じて区民の都市農業への理解醸成を図る。 農作業や収穫体験など、農に触れる活動に取り組む。 地元農産物の購入などを通じて、地域の農業を支える。 沿道緑化やみどり豊かなまち並みの形成に取り組む。
	樹林地の自然環境や風景が感じられる公園	地域団体等と連携し、樹林地や貴重な動植物等の保全を進める。 多様な動植物を育む樹林地の保全活動に取り組む。
暮らし 安全安心	安心して暮らせる住宅地	防犯のため、パトロールカーによる巡回を実施する。 防犯パトロールや見守り活動に取り組む。 騒音やごみ出しなどの生活ルールを守る。

共通Ⅰ.

補助230・233号線沿い

「補助230・233号線沿い」は、安全で快適な歩行環境や商業・サービス機能等を活かし、暮らしの利便性が向上するエリアです。

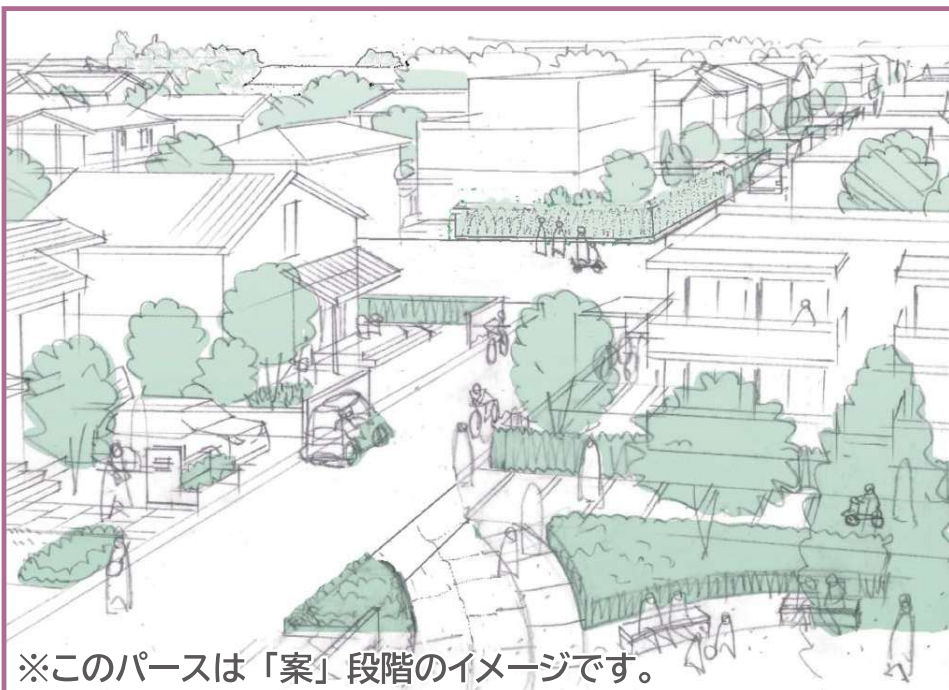


※このパースは「案」段階のイメージです。

共通Ⅱ.

一般住宅地

「一般住宅地」は、防災性や利便性の向上、地域のつながりを活かし、安心して暮らし続けられるエリアです。

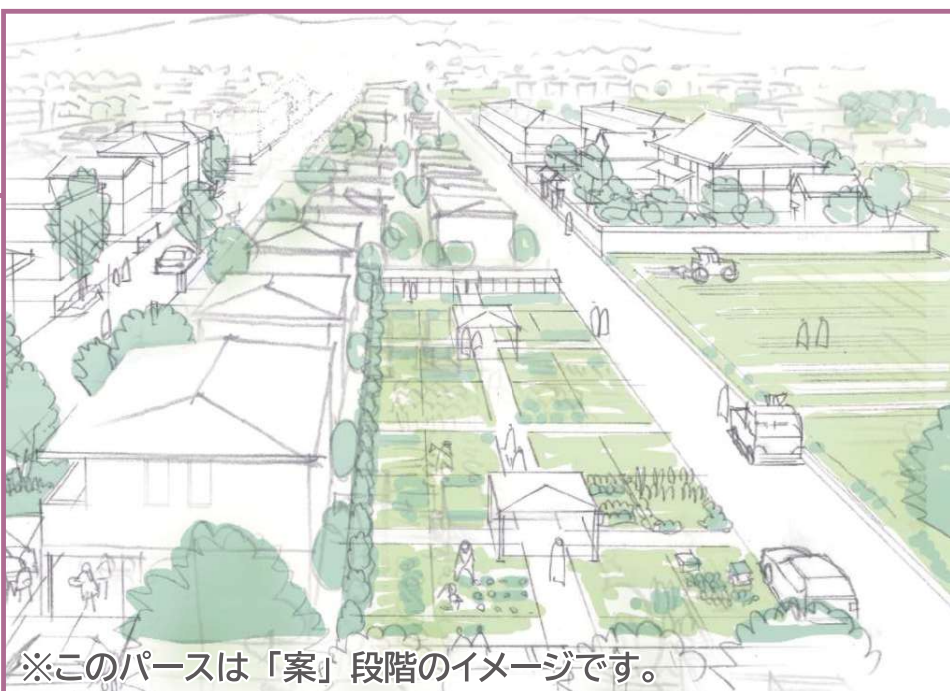


※このパースは「案」段階のイメージです。

共通Ⅲ.

農業住居複合地

「農業住居複合地」は、農地と低層住宅が調和した環境や農を通じた交流を活かし、安心して暮らし続けられるエリアです。



※このパースは「案」段階のイメージです。

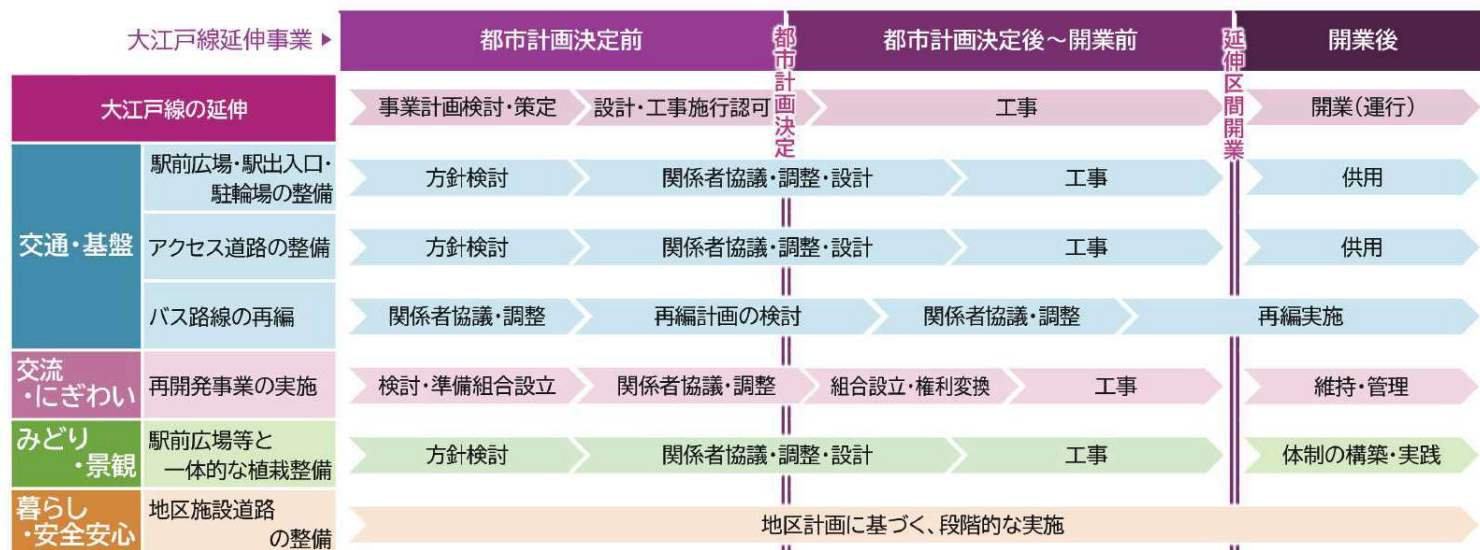
1 まちづくりの進め方

「まちづくりデザイン」で示した将来像を**地域住民・団体、民間事業者、行政**などで共有し、**連携・協力しながら具体的な取組を進めます**。延伸を見据えた生活利便施設や商業・公共施設の集積、交流・活動の活発化により地域の魅力とにぎわいを高め、延伸の実現と沿線地域の持続的な発展につなげていきます。



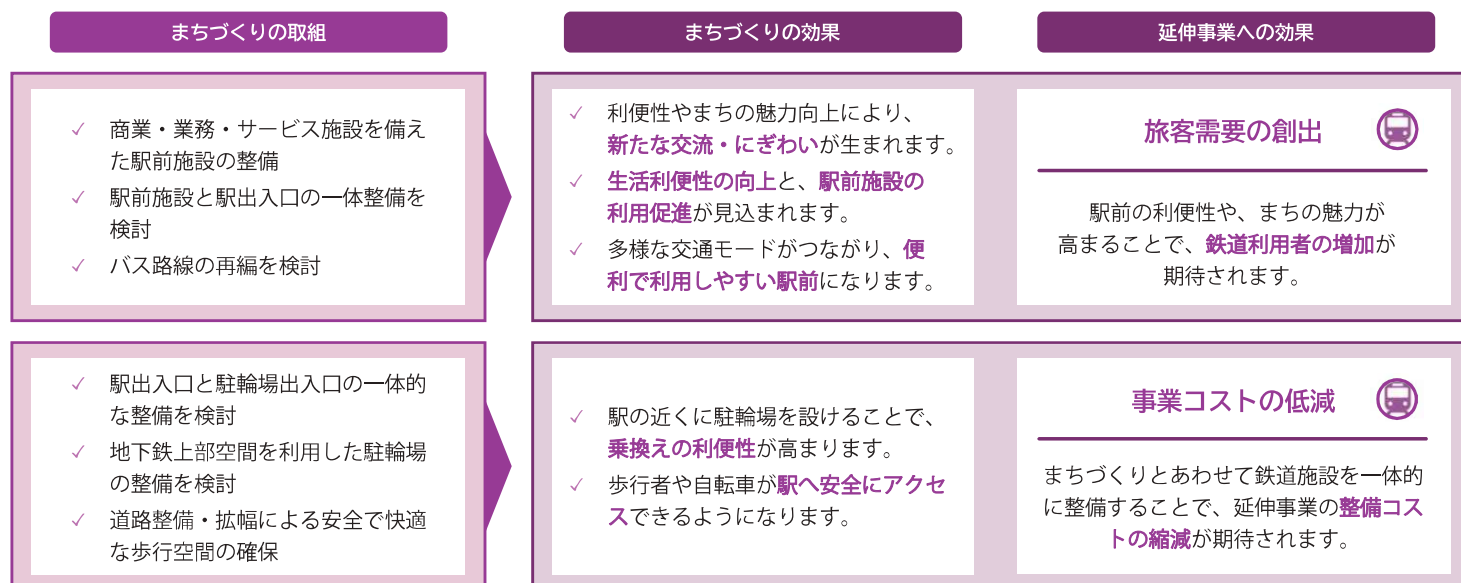
2 まちづくりのロードマップ

沿線まちづくりは、大江戸線延伸の開業時期を見据え、計画的に取組を進めます。



3 まちづくりの取組が延伸事業に与える効果

「まちづくりデザイン」で示した様々な取組は、まちづくりの実現による効果だけでなく、大江戸線延伸事業への効果が期待されます。



各新駅予定地周辺の将来像の実現に向け、やってみたいこと

沿線全体